

よこし

広報

- おもな内容 —
1. 秋季火災予防運動 (P1)
 2. ごみの搬出はきまり正しく (P2)
 3. 小林存先生の歌碑建立計画起る (P2)
 4. 老後の保障へ大きく前進 (P3)
 5. 国体で本村選手大活躍 (P3)
 6. 村民大運動会で沢海学区が優勝 (P4)



オランダから国境を越え、四国にきていて、細識は整備され、ドイツへはいりまっす。国境といて、も、高速道路の料金が、付添いの人がバスポートをまごめて検閲を受け、またまっした検査もなく通過で、ドイツの高速道路アウトバーンはさすがに立派

にきていて、細識は整備され、ドイツへはいりまっす。国境といて、も、高速道路の料金が、付添いの人がバスポートをまごめて検閲を受け、またまっした検査もなく通過で、ドイツの高速道路アウトバーンはさすがに立派

路にもダンプロトラックがたくさん走っているのが目につきまっした。今までは道を走る車は殆どが乗用車で、それに箱型の荷物車が走っているくらい、土や砂をのせたトラック、機材をつんでいる大型のダンブなど見受けられなかつたのですが、この国へきて漸くそういう車が目につくようになりまっした。

然し、日本のように街の中をダンブがはこりをあげて突走っていくような風景は殆ど見受けられまっせん。それにいらいらながら交通渋滞を待つているようなこともあり活動や仕立造の活動が盛んなせいでありまっしょう。オランダあたりの落ち着いた街の風景とくらべると余りにも騒々しいという感じがします。

ドイツからスイスへ国際特急列車という列車で向いまっした。ちよと日本の寝台車の



高野槇

森の間に赤い農家の立並ぶ風景はさすがにスイスと思われれるようになっていて、通路でも必ず教会のゴシック風の建物を中心に村々が形成されておる、すべてがこれを中心に行われている感じがす。農家の建物は木と石の組み合わせが、雪深い日本の昔からの建物とよく似ている感じがす。

よな形で、一方が通路になり六人が向い合って賑やかなるようになっていて、通路との間はドアーで仕切られ鍵がかかるようになっていまっす。新幹線にくらべると騒音も振動も激しくて鉄道技術では日本の方が上だという感じがす。

青い湖と緑の牧場、緑濃い

砂丘地帯の駒込、藤山、平山を、山通りと呼び、先住民が原住民族が部落作りをした横越村の中でも古い時代から開始された地である。現に、駒込、藤山には多少の石器や、土器が出土している事でも証明されよう。

藤山の旧家で知られる田村忠雄氏宅に、村内でも唯一の「高野槇」が、樹々の緑も色濃くしているが、この樹令は三〇〇年以上とみられ、目廻りの周囲三二〇米、樹高二〇米以上の大樹がある。

写真の説明

隣にも声かけあってよい防火

秋季火災予防運動 11/20-12/2

日増しに寒さが加わり、暖房器具を使う機会も多くなりまっした。これからは火災の発生がたいへん多くなるのが毎年の例です。

●今年も十一月二十六日から十二月二日まで、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。

●火災予防運動では家庭における安全点検があげられていまっす。ふだん何気なく使っている便器、一寸した不注意で忽ち悪魔に早変わりするのです。

●石油ストーブの給油や移動は、完全に火を消してから。

●煙突の点検と掃除は忘れずに実行すること。

●万一の場合に備えて、各家庭に出来るだけ消火器を。

●老人や子供の就寝場所や、避難口については、特に御注意下さい。

●常にバケツ一杯の水を備えておきまっしょう。

●暖房器具は、その性能にあわせ正しく使うこと。

●就寝前や外出の際は、必ず火の元の点検を。



医療費を無料に
—10月 から—

ねたきり・一人暮らし老人
在宅重度心身障害者

すでに七十才以上、または、日雇労働者健康保険給付満了者の被保険者、並び及び乳児の医療費が無料化されていまっす。今度十月一日からさらに、ねたきり老人と一人暮らし老人、それらが在宅重度心身障害者(児)の医療費が無料化されていまっす。

ねたきり老人
在宅重度心身障害者(児)

無料化の対象者

ねたきり老人
六十五才から六十九才まで

在宅重度心身障害者(児)

一人暮らし老人
常時一人暮らしをしてる六十五才から六十九才までの方。

在宅重度心身障害者(児)

心身障害者の程度が、次のいずれかに該当する在宅障害児

1. 重度精神薄弱児：知能指数三十五以下。
2. 重度心身障害児：重度精神薄弱と重度肢体不自由を合併しているもの。
3. 重度身体障害児：一・二級の障害児のうち常に介護が必要となたきり、またはこれに準ずるもの。

◆所得制限
本人の直前の所得が四十三万円以下であったもの、および扶養義務者に一定の所得がある場合は対象になりまっせん。